

みどりとともに

第 37 号

2019 年 1 月 1 日

一般社団法人 茨城県治山林道協会

水戸市三の丸 1 丁目 3 番 2 号

林業会館 3 階



❖❖❖❖ も く じ ❖❖❖❖

新年のごあいさつ	2
国の森林環境税(仮称)の概要について	3
水とみどりがきらめくまち 土浦	4
地域林業経営の担い手として	5
協会だより	6~7
治山・林道関係コンクール審査委員会開催 (一社)日本治山治水協会 創立80周年記念治山功労者表彰 平成30年度日本林道協会通常総会及び治山・林道コンクール表彰式	
協会の主な動き	8



新年のごあいさつ

(一社)茨城県治山林道協会会長 三次 真一郎



新年あけましておめでとうございます。皆様方には、清々しい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の運営に対しまして格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

西日本を中心に起きた平成30年7月豪雨では、台風7号や梅雨前線の影響により、長期間の降雨や短時間の記録的な豪雨となり、森林の有する山地災害防止機能の限界を越え、脆弱な地質地帯で山腹崩壊や土石流等が多発し、甚大な被害をもたらしました。

また、9月には北海道胆振東部地震が発生し、前日までの台風21号による雨の影響もあり、火山噴出物が堆積した不安定な地層構造の地域では、強い揺れで多数の山腹崩壊が発生しました。

森林は、このような災害から国土を保全するとともに、地

球温暖化防止や水資源の涵養など様々な公益的機能を有しております。これらの機能を十分に発揮させるためには、地域の特性や地形、脆弱な地質に応じた、森林を健全に整備・保全し、さらに、災害関連事業と一体的な復旧・予防対策を実施する必要がある、この基盤となる治山事業や林道の整備を推進することは極めて重要であります。

当協会では、治山林道事業に関する専門的知識・技術を有する私どもの役割を十分に認識し、国が進める新たな森林管理システムの実現に向けて、林業関係団体と共に密接に連携し、市町村に協力しながら、各事業が効率的且つ円滑に推進できるよう努めて参る所存であります。

今後とも、なお一層のご高配を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

茨城県農林水産部長 櫛田 浩司



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、近年はこれまでの想定を超えた集中豪雨や、非常に規模の大きい台風が多発し、山腹の崩壊、土砂や流木の流出等に起因した災害が全国的に発生しております。

特に、昨年は7月の西日本豪雨、台風21、24号の通過や9月の北海道胆振東部地震等の自然災害により、人命・財産に対する甚大な被害が生じたことは皆様の記憶に新しいことと存じます。

このようなことから、県民の生命・財産を守る役割を担う治山事業や森林整備事業につきましては、これまで以上にその重要性が高まっているものと考えております。

そのため、治山事業につきましては、昨年の11月に策定した「茨城県総合計画」に基づき、災害に強い県土を実現するため、荒廃山地の復旧や治山ダムの整備等により治山治水対策の強化を図るとともに、治山・林道施設の耐震化・長寿命化等により危機に強いライフラインの整備を進めてまいります。

また、森林整備事業につきましては、意欲と能力のある林業経営体が行う人工林の施業に対し、第3期森林湖沼環境税を活用して重点的に支援することにより、事業活動として整備される森林の拡大を図ってまいります。

これらの施策を着実に遂行してまいりたいと考えておりますので、皆様方のなお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

国の森林環境税（仮称）の概要について

茨城県農林水産部林政課

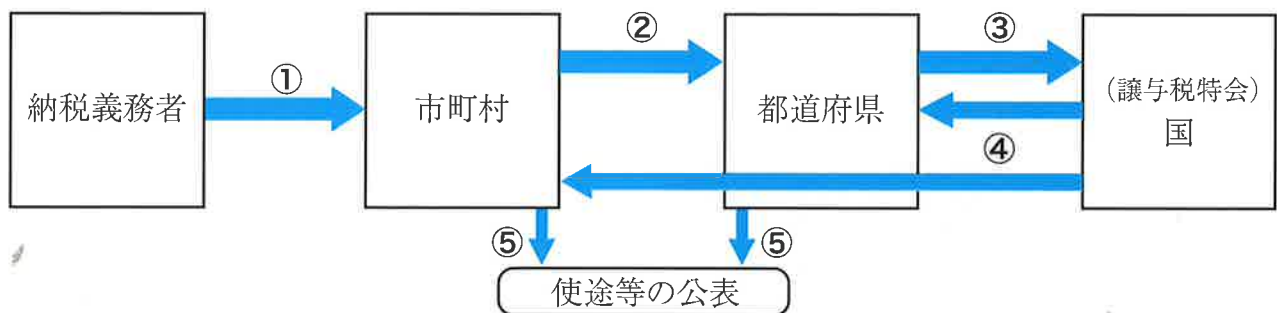
平成30年度税制改正大綱〔H29.12.22閣議決定〕において、温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、平成31年度税制改正で、「森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）」を創設することが決定されました。基本的な仕組みは以下のとおりです。（※林野庁資料を基に作成）

- 1 課税主体：国
- 2 納税義務者：国内に住所を有する個人（個人住民税均等割の納税義務者）
- 3 税率（年額）：1,000円
- 4 課税開始時期：平成36年度
- 5 税収見込み額：約600億円
- 6 使 途

○市町村：間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

○都道府県：森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用

7 賦課徴収の流れ



- ① 個人住民税と併せて市町村が賦課徴収
- ② 個人県民税と併せて市町村が都道府県に払込み
- ③ 都道府県が国（譲与税配付金特別会計）に払込み
- ④ 森林環境譲与税（仮称）として、譲与基準により市町村・都道府県に譲与（平成31年度～）※
※ 平成31～35年度は、交付税及び譲与税配付金特別会計における借入金を充当（平成37年度以降に森林環境税（仮称）の収入から償還）
- ⑤ 市町村と都道府県が森林環境譲与税（仮称）の用途等を公表

8 森林環境譲与税（仮称）の譲与基準

- 市町村（9/10）
 - 50%：私有林人工林面積（林野率による補正あり）
 - 20%：林業就業者数
 - 30%：人口
- 都道府県（1/10） 市町村と同じ基準

※ 制度創設当初は、市町村を支援する都道府県の役割が大きいと想定されることから、譲与割合を2/10とし、段階的に1/10に移行

町から
村から

水とみどりがきらめくまち 土浦

土浦市 都市産業部 農林水産課

土浦市は首都東京から約 60km にあり、茨城県南部のほぼ中央に位置し、北には万葉の世から名峰と謳われる筑波山を仰ぎ、東には日本第 2 位の面積を誇る霞ヶ浦に臨む、水と美しい緑に囲まれた自然豊かな都市です。江戸時代初期に城下町として栄え、その後県南を代表する商都として発展してまいりました。

市の中心部にある「^{きじょう}亀城公園」には、現在も土浦城址の櫓門や堀などが残されており、市民の憩いの場として親しまれております。

筑波山麓の小野地区には、平安六歌仙の一人で、絶世の美女と謳われた小野小町にまつわる数多くの伝説が残っており、これに基づいた地域観光の拠点「小町の里」がごございます。



小町の里

シンボルである巨大水車をはじめ、地元産の美味しい「常陸秋そば」を楽しめるそば処や特産物販売コーナー、のどかな里山の風景に囲まれながら体験活動や休憩が出来る体験館などのほか、周辺には、関東平野を一望できる朝日峠展望公園に通じるハイキングコースやパラグライダーの飛行場など、壮大な自然を感じられる人気スポットがあり、市内外から、数多くのお客様にお

越し頂いております。

筑波山麓の山々をはじめ、市内の森林は、憩いの場やレクリエーションの場としてだけでなく、水源地としても重要な役割を担っており、市の水がめとなる霞ヶ浦は、これら森林からの恩恵を受け、生活用水や農業・工業用水など、地域の水資源として幅広く活用されてまいりました。しかし、生活環境の変化に伴う生活雑排水や事業排水の増加により水質が悪化したため、市では水質改善に向けた取り組みを推進しております。そのようななかで、昨年 10 月、本市をサテライト会場として第 17 回世界湖沼会議が開催され、その取組や事業内容を国内外に広く発信いたしました。

その霞ヶ浦と筑波山の緑を同時に楽しむことができるのが、つくば霞ヶ浦りんりんロードでのサイクリングで、全国屈指のサイクリングコースは全長約 180km となっており、コース途中には風光明媚なスポットが数多くあり、訪れたサイクリストを楽しませてくれます。

今後とも、より多くの方にご来訪頂き、本市の有する豊かな自然環境に触れ、土浦市をお楽しみ頂きたいと思っております。



つくば霞ヶ浦りんりんロード



地域林業経営の担い手として

笠間西茨城森林組合

笠間西茨城森林組合は、笠間市・桜川市・城里町の2市1町を区域とし、1,486人の組合員で組織され、今年で24年を迎え、主に間伐事業を中心に事業を実施しております。

この地域の林業経営の現状としては、平成30年度、笠間市が農林業振興基本計画策定に伴い実施した組合員に対するアンケート調査結果では、「現在の林業経営について」の問いに「山林経営は行っていない」が59%を占め、「所有山林をどのようにしたいか」という問いに対しては「森林の経営や間伐、下刈り、枝打ちなどを森林組合に委託したい」と回答した人が約39%を占めていました。

また、「災害防止のための森林保全・林道整備・林業技術者の育成・市町村の役割の重要性・森林組合との連携」が必要であるとの意見が多くあり、今後、森林組合が地域に果たす役割や必要性が更に高まって来ると考えられます。



ハーベスタによる造材作業

そのため、当組合では地域の森林の現況や所有者を熟知している人を「森林組合施業推進員」として委嘱し、森林経営に対する所有者の意向調査、交渉及び調整の業務や組合と所有者が締結する契約及

び協定等の仲介業務、現地調査などの業務を行い、森林所有者と一緒に、今後の林業経営についてのお手伝いが出来ればと考えております。



フォワーダによる集材作業

間伐事業の作業体系については、直営班と3班の作業班で搬出間伐や保育間伐等を実施しており、特に、搬出間伐作業については、低コスト化施策を図るため高性能林業機械の導入を推進し、ザウルスロボによる間伐作業道の開設、チェーンソーによる伐木、グラップルによる木寄せ、ハーベスタによる造材、フォワーダによる集材・運搬、大型トラックによる搬出等、高性能林業機械によるシステム化を図っております。

また、国の「森林経営管理制度」による新たな森林管理システムが導入されました。この制度は森林所有者・市町村、そして「意欲と能力のある林業経営体」の役割が示され、森林経営が自から実行できない場合に市町が経営管理実施権を設定し、効率的かつ安定的な林業経営及び林業の生産活動の継続性の確保を目指すものです。

当森林組合は、平成30年9月に県知事からこの林業経営体として認定されました。今後、市町と連携し組合経営の安定化を図り、地域林業経営の担い手としての役割を果たして行きたいと思っております。

協会だより

1. 治山林道関係コンクール審査委員会開催

平成30年8月21日に水戸市において平成30年度茨城県民有林治山・林道関係コンクール審査委員会を開催しました。

この審査会は、各コンクール実施要領に基づき毎年行っており、今年度は治山工事、林道工事、治山・林道木材使用工事、林道維持管理各コンクール併せて11件が審査対象となりました。

当日は、審査委員長の加藤剛広林業課長が進行し、現地調査の結果や現地写真・採点等を参考に審査委員の協議により順位を決定しました。

審査結果は次の通りです。

(1) 治山工事コンクール

順位	事業名	請負業者	備考
1	H28 繰越 第1-1号 津波防災対策緊急整備 東海村白方	(株)岡部工務店 日立市	中央 推薦
2	H28 繰越 第1号 海岸防災林造成 日立市十王町伊師	(株)岡部工務店 日立市	
3	H28 繰越 第1号 復旧治山 大子町中郷	益子建設(株) 大子町	
4	H28 繰越 第2号 復旧治山 北茨城市華川町小豆畑	(株)菅原工務店 北茨城市	
5	H29 第3号 海岸防災林造成 鉾田市上釜	(株)田口建設工業 鉾田市	
6	H29 第6号 予防治山 桜川市山口	(株)長谷川興業 桜川市	



治山工事 津波防災対策緊急整備事業
(株)岡部工務店

(2) 林道工事コンクール

順位	事業名	請負業者	備考
1	H28 繰越 第1号 奥久慈グリーンライン林道 水根持方線開設 大子町小生瀬	(株)大藤組 大子町	
2	H28 繰越 第2号 奥久慈グリーンライン林道 水根持方線開設 大子町小生瀬	(株)藤田工務店 大子町	
3	H29 国補林道開設 小幡・中山線開設 石岡市上青柳	(株)川又造園土木 石岡市	中央 推薦



林道工事 小幡・中山線国補林道開設事業
(株)川又造園土木

(3) 治山・林道木材使用工事コンクール

【施工部門】

順位	事業名	請負業者	備考
1	H28 繰越 復旧治山 大子町中郷	益子建設(株) 大子町	治山工事

(4) 林道維持管理コンクール

順位	路線名	管理者	備考
1	矢ノ沢線	常陸大宮市	

2. (一社)日本治山治水協会

創立 80 周年記念治山功労者表彰

平成30年9月13日、東京都千代田区のルポール麹町に於いて、(一社)日本治山治水協会通常総会及び創立80周年記念功労者表彰が開催されました。

本年は明治150年の年であると同時に、中央協会が創立80周年を迎えたことから、これを記念して、治山事業の推進または治山事業に係る技術開発向上に顕著な功績のあった方に対してその功績を称え治山功労者表彰が行われました。



農林水産大臣賞受賞者
代理受賞：笠間市島田主査(前列右端)

本協会からの受賞者は次のとおりです。

※農林水産大臣賞

山口 伸樹 前会長(笠間市長)

※林野庁長官賞

鬼沢 保平 前理事(前鉾田市長)

※日本治山治水協会会長賞

鬼澤 昭和 前専務理事



山口 伸樹 前会長 (笠間市長)



3. 平成 30 年度日本林道協会通常総会及び
治山・林道コンクール表彰式

平成30年11月29日、東京都千代田区のルポール麹町に於いて、日本林道協会通常総会及び治山林道コンクールの表彰式が開催されました。

中央協会のコンクールに本協会主催のコンクールの中から最優秀なものを推薦した結果、治山工事・林道工事の各賞が次のとおり決まり表彰式が行われました。

・治山工事コンクール

* (一社)日本治山治水協会会長賞

第1-1号 津波防災対策緊急整備事業(東海村)
(株)岡部工務店

・林道工事コンクール

* 日本林道協会会長賞

小幡・中山線国補林道開設事業(石岡市)
(株)川又造園土木

『グリーンフェスティバル2018』
が開催されました

平成30年10月28日(日)、土浦市の霞ヶ浦総合公園の体育館及び屋外において、広く県民に森林・林業・木材産業や霞ヶ浦などの自然環境について理解と関心を深めてもらうために参加・体験型イベントとして「グリーンフェスティバル2018」が開催されました。

素晴らしい秋晴れの中、家族連れなど約1万人が来場し、ミニ上棟式、しいたけもぎとり、木のおもちゃづくり、丸太切り、林業機械の試乗などを楽しみました。

当協会では、測量器械で実際に距離や角度を測ってもらう『測量体験』を行い、約150人の方々に体験していただきました。



測量体験をする家族連れ

○ 協会の主な動き ○ 7月～12月

- 7月10日～11日
関東甲静地区治山林道協会連絡協議会
第39回通常総会(埼玉県)
7月20日
(公社)茨城県林業協会第3回幹事会(水戸市)
7月27日
公有林野全国協議会 通常総会(東京都)
- 8月1日
大井川知事と森林湖沼環境税継続要望団体長
との懇談会(水戸市)
8月3日
関東甲静地区 平成31年度治山林道事業
林野庁・中央協会等へ要望活動(東京都)
8月20日
「グリーンフェスティバル2018」実行委員会第1回総会
(水戸市)
8月21日
茨城県民有林治山・林道関係コンクール
審査委員会(水戸市)
- 9月4日
森林林業活性化セミナー(水戸市)
9月13日
(一社)日本治山治水協会 定時総会(東京都)
茨城県森林、林業、林産業活性化促進議員連盟
講演会(水戸市)
9月19日
森林整備・治山事業促進議員連盟緊急決起大会
(東京都)
- 10月1日
森林土木技術研修会(水戸市)
10月5日
茨城県農林水産業関係団体連絡会事務局会議
(水戸市)
10月11日～13日
全国治山林道協会会長会議(鹿児島県)
10月15日
第2回理事会(水戸市)
10月24日～25日
第55回全国林材業労働災害防止大会(福島県)
10月28日
グリーンフェスティバル2018(土浦市)
10月31日
日本林道協会監事会(東京都)

- 11月6日
第15回みどりの羽根チャリティゴルフ大会
(城里町)
11月13日～14日
平成30年度森林・林業体験学習(大子町)
11月18日
第42回全国育樹祭(東京都)
11月19日～20日
役員現地研修会(北海道)
11月28日
(一社)日本治山治水協会創立80周年記念行事
治山林道のつどい
日中韓治山シンポジウム
(東京都)
11月29日
日本林道協会 理事会、通常総会
治山・林道コンクール表彰式(東京都)
- 12月14日
(公社)茨城県林業協会第4回幹事会(水戸市)
12月19日
「グリーンフェスティバル2018」実行委員会第2回総会
(水戸市)

今後の予定

- 1月17日
全国治山林道協会会長会議
民有林振興会 総会・セミナー
1月23日
林業関係団体合同新年の集い

「みどりとともに」

(年2回 発行)

一般社団法人 茨城県治山林道協会

編集・発行 三次真一郎

水戸市三の丸1丁目3番2号
林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp

表紙の写真:「紅白の滝」

(大子町袋田地内) 神長輝夫氏 撮影